

オープンAPIを活用した 協業事例について



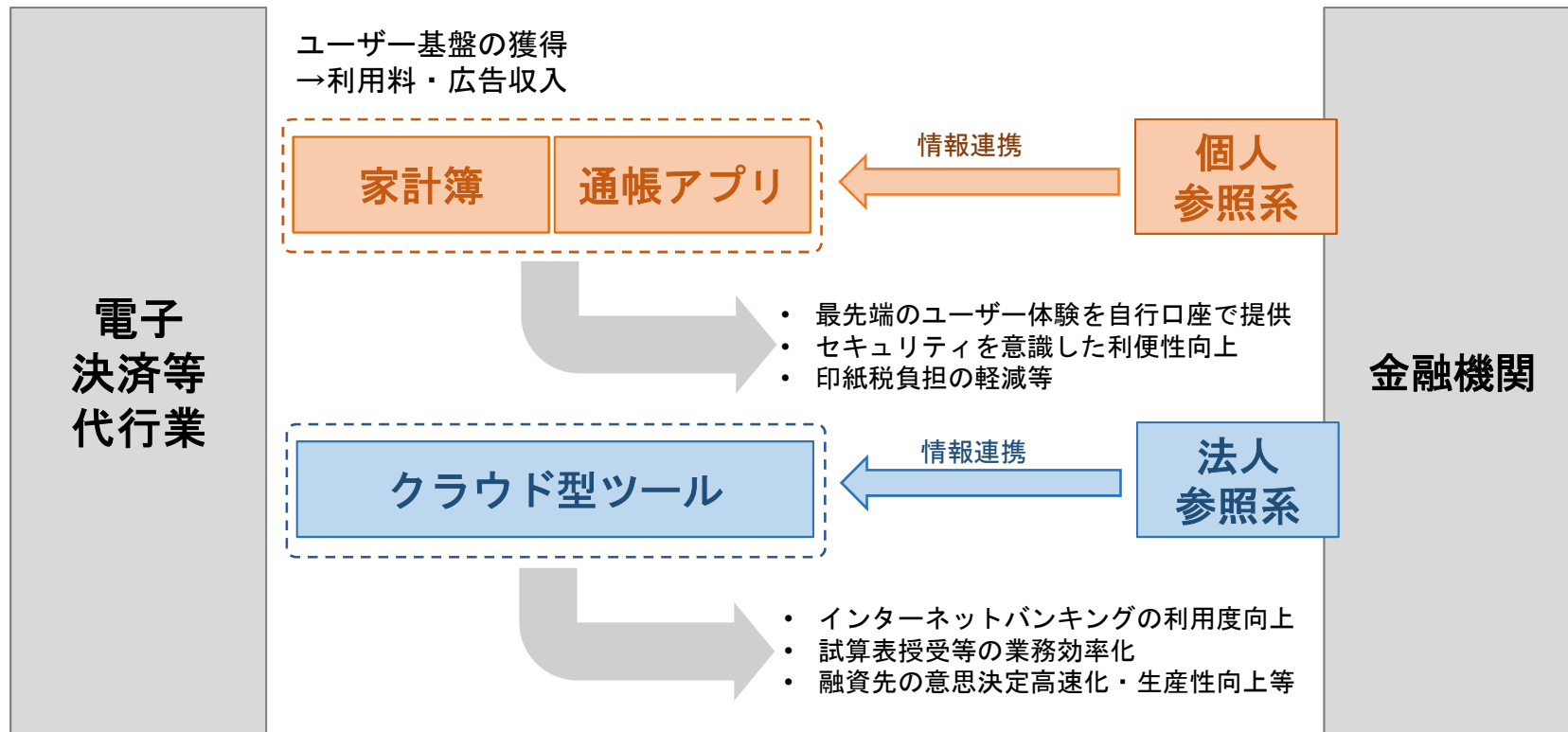
一般社団法人電子決済等代行事業者協会

2019年6月24日

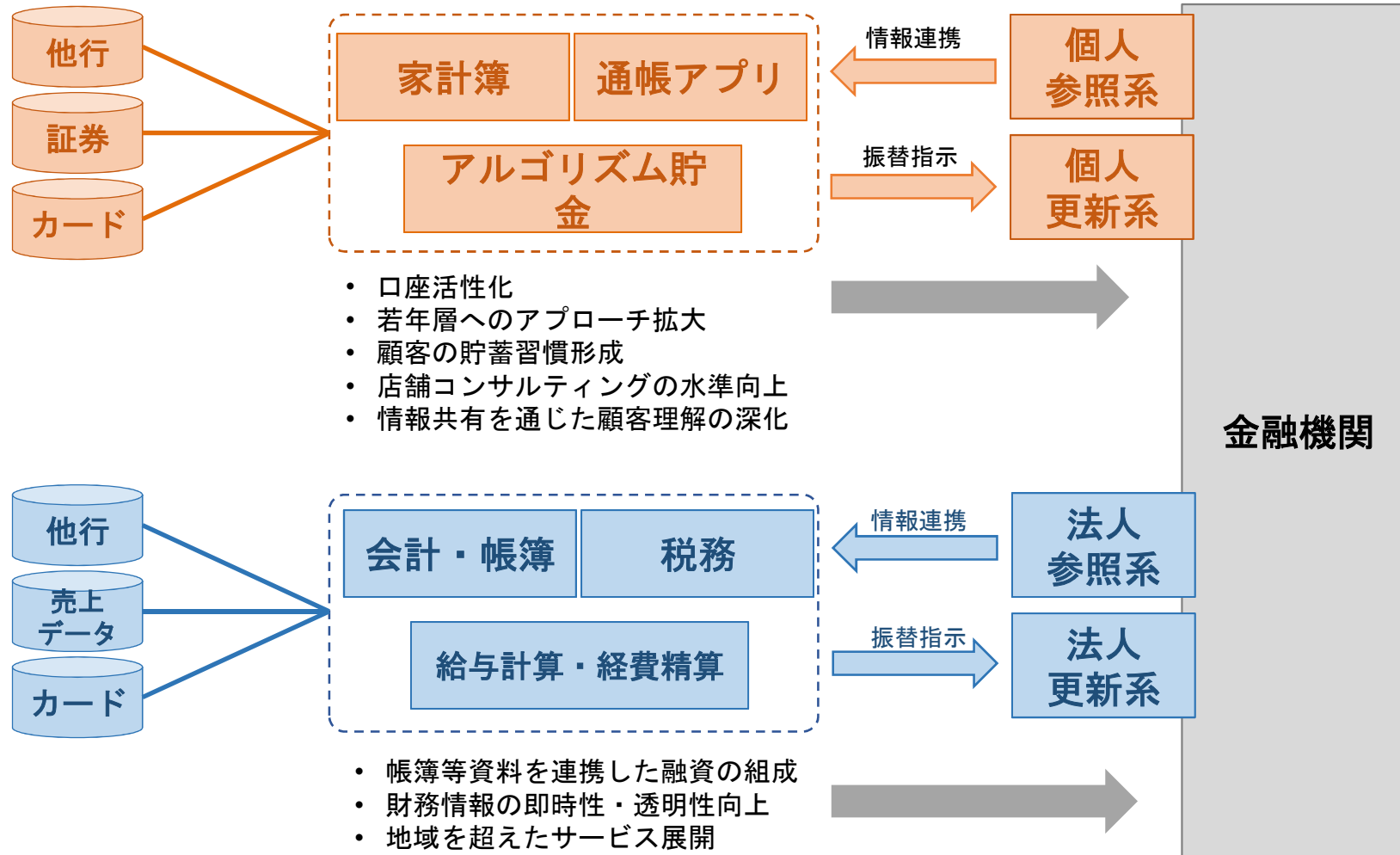
API化の意義について

1. ユーザーに自己情報の価値を還元
 - 窓口／ATM／インターネットバンキングにアクセスすることなく、よく使うサービスで自己情報をすぐ利用できる／加工できる
2. 決済等機能の利用度増大
 - （現金社会では）ATMを繁華街に置くことが金融機関、地域、商店、消費者それぞれのメリットとなるように、
 - （キャッシュレス・デジタル社会では）APIをインターネット上のユーザーが集まる場所に置くことが重要
3. 銀行サービスの高度化
 - 様々な試行錯誤の中でしかユーザー体験が生まれない時代に新たなサービスに向けて機敏に機能を接続することが重要
 - 激しく変わるユーザーの変化への適応を可能に

1. ユーザーに自己情報の価値を還元



2. 決済等機能の利用度増大



3. 銀行サービスの高度化

- 個人向け
 - 家計簿を通じて、ムダ遣い防止や、家計改善に向けた個別のアドバイス、医療費が10万円を超えている方への医療費控除のご案内などが可能に
 - 一連のオープンイノベーションを通じて、現場レベルでの意思決定を柔軟・スピーディに変革できた金融機関もみられている
- 法人向け
 - オペレーショナルな負担が大幅軽減したことで、金融機関・ユーザー企業も帳簿データをより活用するように
 - クラウドツールの提供をきっかけに、ITを活用した生産性向上に向けた取組みが本格化
 - コンサルティング事業者とのビジネスマッチングに発展
 - Fintech企業への出向を通じたナレッジ形成
- オープンイノベーションに限らず、行内からも新たなイニシアチブを進める際に、既存のAPI基盤を活用した取組みがしやすくなった